

情報通信機器等を用いた看護職員及び看護補助者の業務の効率化
の施設基準に係る定例報告（8月報告）

医療機関コード

※レセプトに記載する7桁の数字を記載すること。

保険医療機関名

所在地

入院基本料	1:急性期一般入院料1 2:急性期一般入院料2 3:急性期一般入院料3 4:急性期一般入院料4 5:急性期一般入院料5 6:急性期一般入院料6 7:急性期病院A一般入院料 8:急性期病院B一般入院料			9:7対1入院基本料 10:10対1入院基本料 11:地域包括医療病棟入院料1 12:地域包括医療病棟入院料2 13:小児入院医療管理料1 14:小児入院医療管理料2 15:小児入院医療管理料3 16:小児入院医療管理料4			17:特殊疾患病棟入院料1 18:特殊疾患病棟入院料2 19:緩和ケア病棟入院料1 20:緩和ケア病棟入院料2			
							該当する入院基本料の番号を記載			
	ICT機器等の設備保全に関する体制	①見守りににおける業務の効率化に資するICT機器等								
		機器の名称								
ICT機器等のメンテナンス			○ 定期的に実施 ○ 不具合時 ○ 実施なし							
②看護記録の作成等の効率化に資するICT機器等										
機器の名称										
ICT機器等のメンテナンス			○ 定期的に実施 ○ 不具合時 ○ 実施なし							
③医療従事者間の情報共有の効率化に資するICT機器等										
機器の名称										
ICT機器等のメンテナンス			○ 定期的に実施 ○ 不具合時 ○ 実施なし							
④ICT機器等の使用における医療安全体制整備の取組										
(自由記載)										
看護業務の効率化に職員及び看護補助者の業務の効	⑤ICT機器等の導入前後における看護要員の業務内容、業務量及び業務時間並びに看護要員の事務作業時間及び業務負担等に関する職員への周知の方法 (該当するすべての口に「✓」を記入すること。)						☐ 院内の掲示物			
							☐ 院内職員宛のメール			
							☐ その他			
	その他の場合（自由記載）									
業務施設効率化の等出状況の看護	⑥ICT機器等の導入による看護要員の業務負担感 ○ 減った ○ 変わらない ○ 増えた									
	⑦1人1月当たりの超過勤務勤時間 ○ 減った ○ 変わらない ○ 増えた									
	⑧ICT機器等の活用によるインシデント・アクシデント回数の変化 ○ 減った ○ 変わらない ○ 増えた									

- 〔記載上の注意〕
- 1 届出に係る病棟ごとに記入すること。(複数病棟の場合は、複数枚提出すること。)
- 2 ①～③でいうメンテナンスとは、機器を取り扱う専門業者が実施する定期的な点検を指す。
- 3 ④の取組の例示
 - ・院内の医療安全委員会と連携した体制整備
 - ・医療機器の保守点検計画の策定・実施
 - ・導入機器の運用ルール の策定
- 4 ⑥～⑧は施設基準の届出を時点として記入すること。